

## 謹賀新年 日生研営業部から皆様へご挨拶



営業部部長 乙訓 篤司

旧年中は格別なご厚情を賜り御礼申し上げます。  
新型コロナウイルスの終息の兆しも見られないままに2年が過ぎ、新しい暮らし方・仕事の仕方が当たり前のようになっています。そのような環境で業績が好調な業界もあり、一方で苦戦を要している業界もあり明暗が分かれています。養豚業界は発想の転換とひらめきそして行動力で、まだまだ向上できる業界だと確信しています。弊社は今年も皆様方の一助となる為に、感染症の予防から生産性向上の提案に努めさせていただき所存で御座います。文末になりますが、今年一年皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



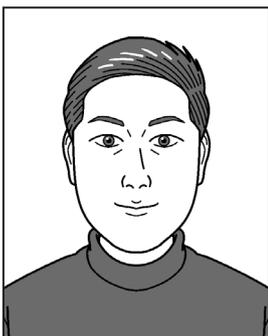
外勤統括・北海道担当 加園 岳大

昨今の養豚業における注射作業は、人間側も豚側もストレス過多になりつつあります。現場からの声こそが、企業を成長させる大きな因子で御座います。より効果的なコンバインワクチン、接種回数が減る様なプログラムなどなど是非とも無理難題を仰って下さい。またコロナ禍であったりCSFであったりと、弊社営業員は高い衛生意識をもって皆様と接する様、徹底させますのでどうぞ広い心で受け入れて下さい(私もお願いします)。製品がOBしない様に、常にナイスバーディーな一年にしたい、変わらないお付き合いの程宜しくお願いします。(携帯：090-7837-0192)



内勤統括 加藤 廉

早いもので内勤業務を担うようになって5年目を迎えます。  
昨年は飼料高騰や豚熱ワクチン接種対象地域が拡がりをみせるなか、お客様のワクチン選択にも大きな変化がみられた一年であったと強く感じます。  
純国産ワクチンメーカーとして、お客様のお声に耳を傾け、ご期待に応えるワクチンの提供を目指して日々精進して参ります。個人の取り組みとしては、お客様のお声を直に伺うべく、今年は現場回りし、情報交換をお願いしたいと考えております。皆様、本年もくれぐれもご自愛くださいます様お願い申し上げます。



東エリア長・南東北地区担当 関 淳一

歳を重ねるごとに健康診断の結果を話題にする機会が増えますが、約3年間続けているスクワットの効果がいよいよ出てきたのか、先日のドックで数年ぶりに血圧数値が基準値内におさまる結果となりました(1回目測定時は若干オーバーでしたが...)。『継続は力なり』という言葉をあらためて実感しているわけですが、決めた目標に向かって地道にコツコツ取り組み、その結果が、情報などとして皆様方にとってお役に立てば幸いに存じます。本年も精いっぱい努めてまいりますので、何卒よろしく願い申し上げます。  
(携帯：080-2170-8048)

## 西エリア長・東海北陸地区・福岡・佐賀担当 門馬 望



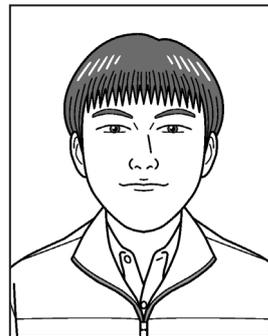
現在、東海北陸地区と北部九州の一部を担当しております。  
 昨年のサラリーマン川柳の一句『通勤が 運動だったと 気付く腹』をテレワーク中は実感していました。いま必死で歩いています。  
 世界規模の感染症流行と連日の報道に「自分もいずれ重症患者になるかもしれない」と健康被害を意識するようになりました。しかしよく考えてみると一年後も確実に元気でいられる保証など元々どこにも無い事に気付かされます。  
 日々の生活をかけがえのないものと思い、いまを大切に生きようと一年の始めに願います。  
 (携帯:090-7834-8968)

## 北東北地区担当 大友 茂



私、生まれも育ちも神奈川県川崎市。川崎市といえば、サッカーJ1リーグで無類の強さを誇るチームを擁する街。昨年までのリーグ2連覇から、今年は3連覇を目指しております。このチームのように、私も充実した1年間を過ごしたいと考えています。本年も御指導のほど宜しく御願いたします。  
 (携帯:090-5755-9859)

## 栃木・群馬・埼玉・東京 山梨・長野担当 洲澤 佑輝



CSFや飼料原料(トウモロコシ)の高騰で大変苦しい状況の中、如何に事故率、飼料要求率等をより良くしていくか、未熟ながらもお力添え出来れば幸いです。豚の疾病だけでなく、新型コロナウイルスも未だ予断を許さない状況ですが、皆様と2022年も健康に笑顔で面談できるよう体調管理には気を付けていきたいと思っております。  
 (携帯:090-7831-8463)

## 茨城・千葉・神奈川担当 岡崎 惇朗



昨年から発売されましたPRRS不活化ワクチン、皆様からのご協力を頂き様々な事例を検証中です。成功や失敗を積み重ね、これからも皆様に貢献できるご提案ができるよう努力してまいります。また、私生活においては去年、倍率の前に屈しました狩猟免許。今年こそは取りたいと思っております!  
 (携帯:090-1057-4352)

## 近畿中四国地区担当 石川 秀樹



現在のエリアを担当して4年間、お伺いした地域それぞれの歴史、特に養豚産業の現在までの発展は地域の特徴があり、非常に興味深く勉強させていただいております。未来にむけて大きな変化と発展が期待できるなか、心と体を鍛え、可能な限りお役に立てるよう2022年を邁進して参ります。  
 (携帯:090-7266-2992)

## 長崎・熊本・鹿児島・沖縄担当 小島 浩



コロナ禍でお酒を飲む機会が減ったせいか、顔色が良くなってない?と言われるようになりました。また最近、健康のためゴルフの練習にいそしんでいます。そのため、スコアが徐々に安定し、今年は100切りを目標にしています。本年もよろしく御願致します。  
 (携帯:090-7834-2349)

## 宮崎・大分担当 永木 宏明



一昨年より宮崎・大分を担当しております。最近、コロナ禍で芝生を歩く機会が少なくなり、体重が増えてきています。今年こそは、去年より芝生を歩く機会を増やしたいので、是非お誘い下さい。スコアも減らしつつ体重も減らしていきたいです!宜しく御願致します。  
 (携帯:090-7833-2679)